



お互いの活動紹介や悩み共有などの話題で話は尽きませんでした。

つながりが生み出す大きなチカラ

市民活動センター登録団体交流会

にぎわいの里ののいち カミーノ内にある市民活動センターでは、市内で活動する登録団体を対象に、コーディネーターが相談にのったり、活動場所を提供したりとさまざまな活動支援を行っています。その登録団体の交流会が6月24日(金)に開催され、24団体30人が参加しました。「市民活動はフィーリングとタイミングが大切。今日の出会いを大切にしてください」との高橋美乃梨コーディネーターのアドバイスのもと、分野の違いを超えた交流の輪が大きく広がっていました。

震度7の揺れを体験

地域学習会「防災意識を高めよう」

6月28日(火)に野々市公民館が地域学習会を開催し、本町地区住民8人が参加しました。白山野々市広域消防本部防災学習センターを会場に、水消火器と火災映像による初期消火体験、煙が充満する暗い部屋から脱出する煙避難体験、揺れる部屋で安全行動をとる地震避難体験を実施。地震体験の装置は、過去の大地震や震度7までの揺れを再現できます。防災学習センターの谷口氏は「何を備えておかなければならないか、体験を通じて考えてみてほしい」と話しました。



宮本野々市公民館長（写真左）も自ら大地震の揺れを体験。



根が張った雑草は、なかなか引き抜かず、一苦労していました。

まちも心も美しく

子どもと大人のまちぐるみ美化清掃

7月3日(日)、各町内会で「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」が行われました。“ののいちっ子を育てる”市民会議と連合町内会が主催するこの取り組みは、子どもと大人と一緒に地域の清掃活動を行い、ふれあいを深めることを目的としています。

この日、三日市町内会では、公園や通学路のごみ拾いや草むしりなどを行いました。参加した子どもたちからは「普段使っている場所が、きれいになって良かった」「楽しかった」など、満足げな声が多く聞かれました。

七夕の日の楽しいひととき

支援センターはくさん サマーライブラリー

市民にもっと子どもの読書に関心をもってほしい、という思いから、市では7月23日を子ども読書の日と定めています。この日にちなんで、子どもが本と触れ合う取り組みが市内各所で行われました。子育て支援センターはくさんでは、7月7日(木)に七夕をテーマにおはなし会を開催。親子8組が参加しました。職員による七夕の紙芝居やオバケが登場する「ばけけけけけけけけけけ」の読み聞かせに、お母さんも子どもも一緒になって絵本の世界に引き込まれていました。



読み聞かせのあとは、七夕の歌に合わせてダンスも踊りました。

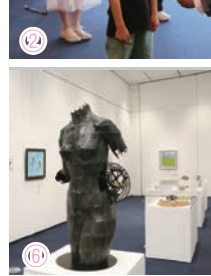
まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

3年振りに開催された美の祭典

第9回 市美術展

7月1日(金)から7月10日(日)まで、学びの杜ののいち カレードで市美術展が開かれ、美術愛好者たちが丹精込めて作り上げた139作品が並びました。一般の部、市美術文化協会員の部、ジュニアの部の3部門から、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真といったさまざまなジャンルの作品が並び、来館者の目を楽しませていました。



①書の部門では、成人女性の身長ほどもある大きな作品が並びました。②ジュニアの部で金賞を受賞した亀田達樹さん③一般の部で市長賞を受賞した小西ひろみさん④カラフルな色使いが印象的なジュニアの部の作品⑤知人の作品を見に来たというグループの皆さん。知り合いの作品が見られることも地域の美術展の魅力の一つ⑥多彩な作品があって見飽きることがありませんでした

第9回 野々市市美術展 受賞者（敬称略）

▶一般の部【市長賞】小西ひろみ（日本画）「富貴花」【市議会議員賞】広川昌弘（工芸）【市教育委員会教育長賞】広川美知子（日本画）【市文化協会賞】窪昌直（洋画）【市美術文化協会賞】山根真紀子（写真）【北國新聞社長賞】山田晴光（書）【野々市ライオンズクラブ会長賞】荒木祥二（写真）【野々市ロータリークラブ会長賞】杉森心相（洋画）【北國新聞社奨励賞（6名）】橋他美子（日本画）、福島登美子（洋画）、丸村金次（書）、吉村恵子（写真）、宮嶋誠（写真）、大谷竹男（工芸）

▶協会員の部【市美術文化協会員奨励賞】帆刈宏典（日本画）、小松繁行（洋画）、畠中香苗（書）、山崎邦昭（写真）、前畑信雄（工芸）

▶ジュニアの部【金賞（4名）】亀田達樹、東藤夏未、中村和花、山口修雅【銀賞（8名）】木下萌子、山田琉聖、岡田一志、安田悠人、織田晶、谷内結斗、山崎美音、市川けい【銅賞（8名）】清水未悠、谷内心香、濱田望心、浅野湊、むらひめか、濱田徠心、深江文、銅子璃音

※ジュニアの部で名前がひらがなの受賞者は、出品票の表記に基づいたものです

サステナブルシティの実現へ向けて

株式会社 LODU との連携協定締結式

6月16日(木)、にぎわいの里ののいち カミーノで市と株式会社 LODU（ロデュ）は“サステナブルシティののいち”の実現に向けた協定を締結しました。これは、SDGsの推進を通じて地域のニーズに対応した都市の実現を目的とするものです。株式会社 LODU は去年に金沢工業大学院生が興した企業で、SDGs普及のためのゲーミフィケーション教材開発などを行っています。島田 CEO は「若者・企業・自治体をつないで、サステナブルなまちをつくらせていきたい」と語りました。



会場にはSDGsのゲーミフィケーション教材も展示されました。